

平成22年度 第1回当別町地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：平成22年6月11日 15:00～16:30

場所：当別町役場第二庁舎 2階会議室

出席委員 20名、欠席委員 2名、オブザーバー 4名、傍聴人 1名、随行者 1名

1 開会（司会：増輪事務局長）

2 会長挨拶（近藤会長）

新年度に入り、各役所の人事異動等で一部委員に変動があり、変わられた方への委嘱状の交付をさせていただきますのでよろしくお願いする。

当別町のコミバスは、平成18年度からスタートし、今年で5年目を迎える。また、地域公共交通活性化事業としての取組は、平成20年からスタートして今年で3年目となり、国の補助事業としては今年が最終年となる。平成23年度からは補助金に頼らない独自の運営が必要になる。今年度は、来年から独自に運行するために、運行便数や運賃の適正な価格、あるいは路線の選定や新たな参加事業者の勧誘などについて議論をしていただき、持続可能な経営の健全化にむけて、今年一年かけて取り組んでいきたい。

3 委嘱状の交付

会長より委嘱状の交付

北海道運輸局札幌運輸支局主席専門官	新保 信一
北海道旅客鉄道株式会社 石狩当別駅駅長	羽賀 雅史
当別町行政推進員連絡協議会	五賀 利雄

4 役員の選任

委員の変動による副会長及び監査委員の選任

副会長 北海道運輸局札幌運輸支局主席専門官 新保委員
会長の氏名による。

監査委員 当別町行政推進員連絡協議会 五賀委員
委員の互選による。（事務局案提案）

5 報告

（1）平成21年度活性化・再生総合事業実績報告について

事務局（熊谷企画課長）

第1部については、まず協議会の変遷について書いている。4ページには、こういった変遷をたどった協議会の昨年度の協議の内容が書いている。

第2部には今回の本命のバス運行事業の部分について書いている。図2-2-1の利用者数の推移は、この4年間で1番の乗り込みを見せている。これまでは13万人台で推移していたが、平成21年度については、14万人台に達する結果になっている。22ページから26ページには

SUISUI ふれバの実績などを載せているが、非常に厳しい運行状況となっている。25ページは21年度より夏休み冬休み限定の子供に対する定期券を販売したことを記載している。初年度ということもあり、夏季については40枚、冬については20枚の実績となっている。今後の推移を見守っていききたい。

27ページ目は設備の充実ということで、昨年度はバス事業で非常に待望していたバスの購入が実現した。あわせて、各車両に表示モニターや音声案内システムの導入もできた。

29ページの利用促進策などのソフト事業については、子ども向けのモビリティマネジメントを行った。同様に34ページには、大学生向けのモビリティマネジメントについて記載している。36ページには利用促進ツアーとしてのファイターズ観戦ツアーについて、38ページから43ページにはバス祭りのことをまとめている。

47ページにはデマンドシステム導入の検討について書いており、本来であれば21年度調査、22年度実証運行する予定だったが、補助金が削減になった関係で、平成22年度はデマンドの実証運行はできない状況となっている。

平成21年度の総合事業実施報告については以上。

質疑なし

(2) 平成21年度協議会決算及び監査報告について

事務局(熊谷企画課長)

参加事業者負担金は、各参加事業者に7.5パーセントの還元をしたことにより、278万7,118円の減となった。

繰越金は、平成20年度から21年度に向けて、積み立てをしたというような性質の内部留保的なお金で、増減はない。

諸収入については当初3万円を予定していたが、2万6,249円の減で、内容については利子収入。

収入合計は614万3,367円の減。

総務管理費については、経費削減に努めたことにより9万698円の減。

事業推進費の運行事業費は、バス待合所設置工事や公共交通情報提供システムの整備を取りやめたことと、実証運行委託費を減らしたことにより6,027,007円の減。

調査研究費は、OD・アンケート物流システム導入調査の見積もり合わせによって1万6,000円の減。

広報公聴費は、委託に関しての見積もり合わせによって1万3,415円の減。

最終的に、事業費の事業推進費については6,056,422円の減。

予備費は、とうべつ整形外科が脱退されたことに伴い、とうべつ整形外科が積み立てられた分について按分して還付したため、最終的な内部留保額は4,404,431円となっている。

最終的に、収入70,844,192円に対し支出が66,436,008円で、次年度繰越額は4,408,184円となった。

資料2-2として、昨年度50万円以上のバスを購入したため、台帳の写しを付けました。同様に資料2-3として、50万円以下であるが備品台帳として整理しなければいけないものについてまとめた。

平成21年度の協議会の決算については以上。

監査委員（山内委員）

当別町地域公共交通活性化協議会要綱10条に基づき、平成22年5月21日に役場小会議室において、平成21年度当別町地域活性化協議会会計、並びに出納に関する書類、帳簿、また、通帳等について精査したところ、いずれも適正に執行されているものと認められましたので、ここに報告申し上げ監査報告とさせていただきます。

質疑無し

6 議事

（1）平成22年度事業計画及び予算の変更について

事務局（熊谷企画課長）

資料3について、今年度は3,200万円の補助金を予定していたが、1,220万円減額の1,980万円になるというような内示があり、予算を補正しなければならず資料を作成した。大きく変更あった部分は、収入の国庫補助金が3,200万から1,980万円に減額。この減額に伴い、運行事業費の中の委託費のデマンド実証運行と工事費のバス停留所整備を休止。また、広報公聴費の中の委託費の、交通マップ・MM実施、感謝ツアー、展示会等利用促進事業、印刷費の宣伝用印刷製本費を縮小して実施することとした。あわせて既に執行している運行事業費の委託費について、当初予算4,250万から契約差金等あり、4,101万円となっている。また調査研究費の委託費について、当初500万の予算から契約差金等によって430万円と変更になっている。最終的に収入、支出共に当初予算7,148万円から、補正後予算5,928万に変更したいと考えてる。

鈴木委員

21年度決算で次年度繰越額が4,408,184円となっていますが、22年度の予算の繰越金は4,660,000円になっています。これはどうしてでしょうか。

事務局（増輪事務局長）

大変申し訳ないが記入ミスである。

収入の部分の繰越金で、現在平成22年度予算額並びに変更予算額4,660,000円のところを、4,408,184円に訂正し、収入の合計が59,028,184円となる。それに伴い支出の予備費の4,680,000円を4,428,184円とし、支出合計と収入合計を59,028,184円と訂正する。

（2）ふれあいバス利用促進バスツアーの抽選について

事務局（熊谷企画課長）

資料4-1、4-2について、昨年同様、ふれあいバス感謝ツアーということで日本ハム観戦ツアーを実施する。当別町140周年にかけまして、140名70組を募集します。現在65通の申込があり、抽選をしなければいけない見込みが非常に強くなったため、抽選委員3名を選考していただきたく審議をお願いします。

事務局一任

事務局（熊谷企画課長）

事務局案としては、参加事業者である北海道医療大学、鈴木委員、スウェーデンハウス株式会社、丸山委員、運行事業者の下段モータース、下段委員の3名にお願いをしたいと考えているので、よろしくお願いしたい。

異議なし

（3）当別ふれあいバス絵画・ポスターコンクールの受賞作品の選考について

事務局（熊谷企画課長）

資料5について、平成21年度に当別ふれあいバスポスターコンクール展を実施した。当別小、西当別小、弁華別小から合計149枚の絵を提出いただき、2月から4月までの間バス車内で展示を行った。本来であれば平成21年度予算で、受賞作品の選考等を行うべきですが、諸事情により平成22年度の予算で実施したいと考えている。受賞作品につきましては、低、中、高学年、から各大賞1点、優秀賞3点、参加賞というようなことを考えている。この受賞作品の選考にあたって、委員の皆様から選考委員を選出していただきたく、審議をお願いする。

事務局一任

事務局（熊谷企画課長）

事務局では、行政推進員連絡協議会の五賀会長、PTA 連合会会長の高橋委員、ボランティア連絡協議会の五十嵐委員、商工会の土肥委員の4名にお願いしたいと考えている。

異議なし

（4）本格運行向け協議スケジュールについて

事務局（熊谷企画課長）

資料6について、平成23年4月1日から、補助金なしの自主自立した本格運行を実施するにあたって、今年の12月1日から本格運行と同等のルート、ダイヤ、運賃設定により、運行を開始したいと考えている。それに伴い、1回目の参加事業者との打ち合わせを6月下旬、2回目を7月中旬、3回目を8月中旬、その間に参加事業者へのヒアリングを実施し、本格運行に向けての活性化協議会を8月下旬、路線の変更申請を9月中旬までに行うというスケジュールで実施していきたいと考えている。

質疑無し

（5）今後のスケジュールについて

事務局（熊谷企画課長）

資料7 - 1について、本日6月11日、第一回目の協議会が開催されている。7月9日には利用促進ツアーの実施、中旬にはバス通信の発行、8月には2回目の協議会の開催、9月に路線の変更申請、10月9日にバス祭り、12月には第3回目の協議会及び新たな本格運行へ向けた路線及びルートの確定、といったスケジュールになっている。また、3月には協議会の4回目を開催したいと考えている。

質疑無し

7 その他

北海道運輸局 経亀助成係長

先週金曜日の6月4日に、行政事業レビュー公開プロセスというものが実施され、当別の地域公共交通活性化再生総合事業についてもその対象となり、いろいろと議論されました。非常に厳しい意見が多く、結果としてこの事業は廃止という判定になりました。しかし、政策目的自体は、各委員、国民の方も大体理解されているため、今後議論される交通基本法といった中で、より効果的な支援策を見直しする予定です。このことに関連して、逐一事務局に情報提供させていただきながら、よりよい制度作りを進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

8 閉会（近藤会長）